

# ユーザーと拓く

## 新しいイノベーションのカタチ

### —ユーザー・イノベーションの活用法とその成果—

近年、生活者が自らの利用のために製品やサービスの開発や改良をおこなう「ユーザー・イノベーション」という現象に注目が集まり、国内外の先進的企業が活用し成果をあげています。本シンポジウムでは、ユーザー・イノベーション研究を専門とする西川教授による、事例をもとにしたその概要や活用法の解説をはじめとして、その最新成功事例である「ワークマン」の林氏に成功の秘訣をお話しいただきます。その上で、その成功を裏付ける理論を研究書（『ユーザー発案者効果』碩学舎、近刊）にした岡田氏が解説をおこないます。ユーザー・イノベーションという現象を、実践と理論の両面から深く捉えることを通して、実務家や研究者、学生のために大きな学びの機会を提供します。

後援：日本マーケティング学会 ユーザー・イノベーション研究会  
USER INNOVATION LAB.



『ユーザー発案者効果』  
(岡田庄生 著、碩学舎)  
2024年2月末 刊行予定

日時

2024年3月12日 (火)

18:30~20:30 (開場18:00)

開催方法

対面 [法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階 スカイホール]  
オンライン [YouTube Live]

プログラム

司会：和泉 舞 (株式会社博報堂 / USER INNOVATION LAB. 共同代表)

18:30-18:35	オープニング	 和泉 舞 同上
18:35-18:55	ユーザー・イノベーションの活用法	 西川 英彦 法政大学経営学部教授
18:55-19:35	ワークマンにおける ユーザー・イノベーション活用事例	 林 知幸 株式会社ワークマン 役員待遇 営業企画部兼広報部 部長
19:35-20:00	ユーザー発案者効果	 岡田 庄生 法政大学イノベーション・マネジメント 研究センター客員研究員
20:00-20:25	ディスカッション&質疑応答	
20:25-20:30	クロージング	

申込方法

下記専用サイトよりお申し込みください。お申し込み時に対面（法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階 スカイホール）とオンライン（YouTube Live）の選択が可能です。受付完了メール（自動返信）からシンポジウムの配信リンク先をご連絡します。

<https://riim20240312.hosei-kyoiku.jp>

申込締切

2024年3月10日 (日)  
※オンライン参加は、3月12日 (火) まで申込可

定員  
(来場)  
先着100名

参加費  
無料



# プロフィール



## 西川 英彦

法政大学経営学部 兼 大学院経営学研究科 教授、イノベーション・マネジメント研究センター所員、日本マーケティング学会会長、USER INNOVATION LAB.共同代表、ユーザー・イノベーション研究会リーダー

■神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了、博士（商学）。ワールド、ムジ・ネット取締役、立命館大学経営学部准教授・教授を経て、2010年から現職。法政大学大学院経営学研究科長、複数社の社外取締役などを歴任。主な著書に『1からのデジタル・マーケティング』（共編著、碩学舎、日本マーケティング本大賞2019大賞受賞）、『ネット・リテラシー -ソーシャルメディア利用の規定因-』（共著、白桃書房）、“The Value of Marketing Crowdsourced New Products as Such: Evidence from Two Randomized Field Experiments”（共著、*Journal of Marketing Research*, 54(4)）など。『日経産業新聞』にてコラム「西川英彦の目」を連載中。専門はデジタル・マーケティング、ユーザー・イノベーション。



## 林 知幸

株式会社ワークマン 役員待遇営業企画部兼広報部 部長

■1996年にワークマン入社。スーパーバイズ部、開発部を経て2020年4月より現職。2018年のワークマンプラス、2020年の#ワークマン女子の立ち上げや、多くのメディアに取り上げられ話題となった「過酷ファッションショー」の企画や演出に携わった。現在ではSNS等のオウンドメディアやアンバサダープロジェクトなどのマーケティング戦略や広報・PR戦略を担当。



## 岡田 庄生

法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 客員研究員

■2004年、広告会社に入社。ブランド戦略・マーケティング戦略の策定や新商品・新サービスの開発などを支援するコンサルティング業務に従事。2022年、法政大学大学院経営学研究科 後期博士課程修了。博士（経営学）。著書に『買わせる発想 相手の心を動かす3つの習慣』（講談社）『お客様を買う気にさせる価値の見つけ方』（KADOKAWA）、『プロが教える アイデア練習帳』（日経文庫：日本経済新聞出版社）などがある。2023年2月に新著『ユーザー発案者効果 -ユーザー創造製品のマーケティング・コミュニケーション戦略-』（碩学舎）を上梓。武蔵野大学客員教授。同大学アントレプレナーシップ研究所客員研究員。日本マーケティング学会常任理事。



## 和泉 舞

株式会社博報堂、USER INNOVATION LAB. 共同代表

■1980年北海道生まれ。東京外国語大学卒、東京大学大学院総合文化研究科博士前期課程修了。広告会社2社を経て2013年に博報堂入社。ストラテジック・プランニング職として、トイレットリー・化粧品、家電、飲料・食品・嗜好品、アパレル、外食産業、流通などの業務経験が豊富。法政大学西川研究室と（株）博報堂が共同主催するユーザー・イノベーション・ラボの代表を務め、生活者と企業の共創を支援している。

